

新たな治験活性化5カ年計画（抜粋）

（4）治験の効率的実施及び企業負担の軽減

治験のスピードアップとコスト低減を図るため、医療機関と企業の役割分担を明確にし、**治験関係書式の共通化**や、**治験データのIT化**による効率化を一層推進する。

平成19年度より開始

- 関係医療機関団体、製薬企業団体により、**治験に用いる書類のモデル書式、研究費算定のモデル**、企業と医療機関との適切な役割分担を示したモデルチェックシートが作成されるよう促す。
- 医療機関の治験受託に関する窓口の一元化がなされるよう促す。

平成23年度までに実施

- **中核病院・拠点医療機関において、共通化された治験関係書式を使用し、モデルチェックシートによる業務明確化がなされていることを目指す。**
- **中核病院、拠点医療機関において、治験に係る情報を電子的に収集・集積することが容易になるよう、関連システムの標準化がなされていることを目指す。**
- 医療機関へ、出来高払い・契約未了症例の返金等契約の改善がなされていることを目指す。